

# 森林資源循環に向けた新たな価値創造（ウッドバリューチェーン構築）プロジェクト ～オホーツク発 Wood+α戦略～

成長産業の姿

森林認証を柱とした環境ブランドの確立による魅力ある林業・木材産業への転換

## 提案：ウッドバリューチェーンの構築（川下から川上へ）

### 1. 付加価値を高めた製材・製品の販売促進【林業+α（環境価値、ツーリズム）】

#### ①首都圏における認証材の環境価値の創出

・首都圏企業のCSRに対するマーケティング調査、セミナーの開催

#### ②森林認証を活用した地域材ブランディング

～“森ファン” “オホーツクファン” の発掘～

・森林認証の環境価値を活かしたプロモーション（モデルルームの活用、林業体験ツアー）

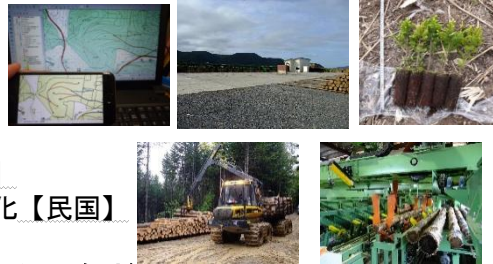


### 3. 森林資源の付加価値化にむけた原木集荷・供給システムの構築【林業+α（ICT、ものづくり）】

#### ①適切な森林施業の確保と

##### 木材トレーサビリティシステムの構築

- ・国有林・民有林のGISの統一【民国】
- ・丸太検知システムによる検知作業の効率化
- ・中間土場を活用した素材生産・流通システム【民国】
- ・コンテナ苗の活用及び造林作業の機械化による省力化【民国】
- ・高密度路網作業システム



#### ②資源の大径化に合わせた生産体制、商品開発（CLTなど）

### 2. 林業の新たな価値創造を担う 人材の育成【林業+α（マーケティング）】

#### ①Woodコーディネーター

“「川下と川上」、  
「森林と消費者」  
を結ぶ地域のキーパーソン”



#### ②林業技術者の確保・育成

“環境に配慮した森林づくり  
を支える確かな技術”



## 森林認証の新しいビジネスモデルの構築

### 【背景・課題】

- ①全国に先駆け森林認証の取組を展開
  - 日本一の森林認証地帯の形成、供給体制の整備
  - 認証製品の需要低迷
- ②東京TOP大会、SGECとPEFC相互認証
  - 森林認証制度の知名度の向上
  - 森林認証市場の新たなビジネスモデルの可能性

### 【KPI】

	現状	H33年度	H48年度
・素材生産量	31万㎡	37万㎡	43万㎡
・認証製品出荷率	3.6%	15%	50%
・雇用者数	402人	432人	458人
・移住定住者数	0人	4人	16人
・Woodコーディネーター育成数	0人	4人	16人
・企業のCSR活用数	0件	2件	8件

### 【検証体制の構築】

外部審査機関を活用  
（東京農大、道総研、森林総研 など）

### 【サポーター】

（情報発信）  
東京農大、（一社）エコツェリア協会  
（機械開発・改良）  
北見工大